水泳部のコーチはエッチな男子高生を
依怙贔屓するいけない大人

一

高校の強豪水泳部のエースは二人。
一年の西野と二年の俺。

二人とも自由形百メートルを得意とし、十代では突きぬけて速いタイムを叩きだす。
全国大会では、たいてい一位二位を俺ら二人が独占。

そうして二人で競いあい切磋琢磨していたものを、世界大会が近づき、日本代表の選考が本格化。
協会の人が耳打ちしてくれたことには自由形百メートルの一枠は十代

から選ぶという。

となれば毎度、全国大会の一位二位に輝く俺と西野どちらかにちがいない。
もちろん俺はあと四年待っているつもりはなく、十代での出場を果たし、メダルも狙いたいところ。

西野も同じ思いのようで、このごろのタイム争いは前に増して熾烈。
俺が短いタイムを叩きだせば、西野はわずかでも秒数を縮めるという目まぐるしくいたちごっこ。

このままでは二人の成績はどっこいどっこいで、大人たちは実力以外を見て選ぶ可能性が。
それは大いに望むところでないので、タイムにかなりの差をつけない

と。

「にしたって、現実問題は難しいし、どうしたものか？」と悩んでいたところ水泳部に新しいコーチが就任。
前の世界大会で銀メダルをとった早波さんだ。

「母校にすこしでも恩返しをしたくてね」とのことで、これはチャンス。
うまく早波さんにとりいり、特別扱いされて指導時間を長くしてもらえれば、西野と差をつけての成長、技術向上やタイム短縮ができるだろう。

というわけで、その日は早波さんに徹底的に媚びへつらい、一段と気合をいれて泳ぎ「世界大会の泳ぎには痺れました！」とひたすらよい

しょをして、マニアックな水泳談議に話を咲かせたのだが。
翌日、プールにきて元気溌剌と挨拶をし、早波さんの元へ一目散「あ、あの昨日話していた泳ぎ方、見てもらえますか！」と声をかけたところ。

「ああ、わるい、西野との約束が先なんだ」

にこやかに断り、プールにはいって手とり足とり西野の指導にご執心。いくら待っても西野から離れず、二人して夢中で話しこんでいるから口を挟むこともできず。

やっと水からでてプールサイドを歩くのを追い「昨日、教えてくれたストレッチ、実践してもらえませんか！」と食いさがるも、また「ごめんごめん」と八の字の眉で。

「今から西野のマッサージをしてやらなきゃならないんだ」

二回も西野がらみで断られ、いやでも察しられた。
早波さんにとって俺はアウトオブ眼中であり、西野にしか興味がないのだと。

思ったとおり、以降、早波さんは部活中、西野から一時も離れず、俺以外の部員や顧問などの大人たちも寄せつけず。
部活が終わっても「彼の母親の体調が長く優れないようでね」とかなんとかで車で送るという至れり尽くせりぶり。

贅沢な個人指導による賜物か、このごろ西野は好成績を連発し、俺は歯が立たず、秒数の差が広がるばかり。

おまけにまわりからは「メダリストとして将来性があるように見えるのは西野だけなんだ」と冷たい目をむけられ、負け犬扱いされるし。

どんどん状況悪化するし、陰で笑う声がいつも聞こえるようだし「メダリストの目から見て俺には才能がないのか・・・」と絶望しかけたが「いや、待て待て！」と思い直した。
閃いたのだ、早波さんが依怙贔屓しているのは将来有望だからでなく、西野が卑怯な手を使っているからだと。

メダリストを惹きつけるだけの才能と魅力がないことを認めたくなく、西野を悪者扱いしているわけではない。
なんたって、西野には前科がある。

小学生のころは大会で優勝候補の水着をカッターで切り刻んだし。

子供とはいえ、一端のスイマーとなると水着の着心地ひとつで影響がでるからで、実際、決勝でその子は最下位に。

中学生のころはコーチの不倫の現場を撮って、その動画で脅して特別メニューの指導をさせたというし。

それほどの悪事をして世に知られても、水泳界から追放されなかったのは、まごうことなき実力があってのこと。

そう、真の実力者の西野は小賢しい真似をせずとも勝てるというのに、確実に栄光を手にいれたいがために、節操なくあの手この手をつかうのだ。

その貪欲さは病的なれど、高校生になって日本代表入りが見えてきたなら、さすがに大人しくなった。

と思いきや、なんのその。

長年のライバルである俺の目を誤魔化すことはできず「日本代表メンバー決めが迫って、焦ってわるい癖がでてしまったか！ふはははは！ばかめ！」としたり顔。

メダリストの早波さんに賄賂的なものを渡したにしろ、弱みをにぎって脅迫しているにしろ、その証拠をつかんで悪事を暴けば、絶対に西野は日本代表に選ばれず、俺の完全勝利。

水泳の勝負を制しての、文句なしの選出にならないのは不本意なれど、不当にコーチを独り占めしてレベルアップし、まんまと日本代表入りをされたら、もっと不本意。

プールサイドで「俺なんか・・・」と萎れていたのが一転「地獄に叩

き押してやる！」と俄然、奮い立って早速、証拠をつかもうと。